


 Cure and Care  
communication

第 101 号

# C&C コミュニケーション

 発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1  
 Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>


医療法人ピーアイエー

 ナカムラ病院  
 介護医療院 びる  
 介護老人保健施設 まいえ  
 グループホーム つばい


社会福祉法人 双樹会

 特別養護老人ホーム  
**陽光の家**  
 通所介護事業所  
 居宅介護支援事業所

## デイケアにぎや家 25 周年

「にぎや家」は、広島県内で初の重度痴呆患者者デイケアとして、平成六年七月一日にスタートしました。初日の利用者さまは二名、三人のスタッフと二台の車両で送迎を行っていました。あれから二十五年。厚生労働省の通達により痴呆から認知症へと名称が変わり、登録者数も現在は五十四名となりました。日々のご利用人数もほぼ毎日二十名を超えております。平成十四年から変わらぬご利用して下さっている方もおられます。

私が主任を任された平成十七年は、月曜から土曜までにごや家を利用される方が多く、介護保険の利用は週末のショートステイやヘルパーの派遣程度でした。現在はサービスの種類も増え、先のサービスに加え小規模多機能施設や通所リハビリテーション施設との併用など、利用される方にとっては選択の幅や組み合わせ次第で生活に工夫が出来るようになったと思います。その反面、サービスを存じない方や、生活するだけで精いっぱいの方もおられます。にぎや家を利用されている方の中には、ほぼ寝たきりの状態であつても一人暮らしの方や老老介護など、厳しい介護環境の中で在宅生活を必死に頑張っておられる方もいます。ご家族の『家で看たい』というお気持ちを大切に考え、利用者さま、ご家族双方の状態を考えながらできる限りご希望に沿えるように努力しています。また、ご家族が同居されていても仕事を持っておられる方がほとんどで、介護に多くの時間を割く事ができない現状があります。利用者さま、ご家族の望まれる生活は何か、双方の思いのすり合せや可能な事、不可能な事など考えていくことも多くの問題を抱えている場合もあります。そんな中で、にぎや家をご利用される方の安心できる場所となれるように、精神症状の改善や生活機能を維持できるよう個別のサービス計画を立てて実践しています。

認知症の方といっても様々な段階があり、援助方法も違ってきます。認知症を理解しそれぞれの段階にあった対応ができる技術力がスタッフには求められています。利用者さま一人一人とゆっくり時間をとり、色々な問題と一緒に悩み、対策を考え実行し振り返るといふ繰り返しの中で、少しずつ利用者さまが、にぎや家やスタッフに馴染まれ、ここへ来ると楽しい、できることがあると自信が持てるような、プラスの感情をできるだけ多く感じていたいただきたいと思えます。

にぎや家の利用相談も、退院を見越して在宅生活の基盤のため病院からの問い合わせや物忘れ外来からの依頼、認知症初期集中支援チームからの問い合わせと窓口が増えてきました。平成二十七年一月に策定された認知症施策推進総合戦略では「本人主体の医療・介護等が有機的に連携し、認知症の容態の変化に応じて適時・適切に切れ目なく提供される事で、認知症の人が住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるようにする」とあります。にぎや家も地域と医療の架け橋としてこれからも貢献していければと考えています。

デイケア にぎや家

主任 藤間 智子



ナカムラ病院の中村様より、昨年初めて「ナミヤ雑貨店の奇蹟」という映画を上映しますが観にいらして下さいね、とお誘いを受け拝見しました。人と人の繋がりの大切さを感じました。

そして今年も四月二十六日(金)に「あん」を上映しますとお聞き、とても楽しみでした。

桜のある公園のそばで、どら焼き屋を営む男性がいました。そこへ樹木希林扮する老女がやって来て「働かせて欲しい」と頼み込む。男性は業者から仕入れたあんを使ってどら焼きを作って売っていた。老女は朝早くからいねいに小豆あん作りをした。とても美味しい小豆あんがで

きていました。あんが美味しいのでお客が行列を作り、どら焼きを買いに来た。老女は活き活きとして仕事をした。しかし、ある日老女の手を見てお客はだんだん来なくなり、誰も来ない日が続いた。老女はそれまで生活していた施設に戻った。老女がどうしているかと気になり訪問すると、ハンセン病患者の生活する場所だった。そこで老女は長年小豆あん作りをしていたのだ。間もなく老女は天に召されたが、外で働きたいという想いが達成されたので満足だったかな、と思いました。

あらすじを知らず観賞させていただきましたが、考えさせられました。いろいろな考え方があり、それぞれが違っていることを認め、理解し、お互いに補い合ったりして、自然体で皆が生活しやすい世の中になることを切に望みたいと思います。

国際ソロプチミスト広島中央

菅川佐千子



国際ソロプチミスト広島中央は、ナカムラ病院映画会の後援をしています。



五月二十二日・二十三日、リハビリテーション科主催で「春のお茶席」を開催いたしました。田辺先生が点でて下さるお茶とともに、今回も季節の花をあしらった和菓子をお出ししました。飲み込み等の問題で和菓子を食べることが難しい方にはやわらかいお菓子と、とろみの付いた抹茶入り緑茶をご用意しました。



向かって右側が田辺先生

参加された方の中には、会場に飾られた草花を眺めて「きれいなね」「めずらしいね」と言われたり、「私もお茶を習っていたのよ」と昔話をされる方もおられました。今回は、初めて男性も加わり両日ともに三名のスタッフが着物姿で登場し、会場に華やかさを添えました。着物姿のスタッフやご家族との写真撮影では、カメラに笑顔を向けてくださる方が多く、なごやかな雰囲気でした。

今年のお茶席もさまざまな方に支えられ、無事に開催することができました。ご協力・参加して下さった方々、ありがとうございました。

介護医療院 ひいろ

理学療法士 田中 玲子

シリーズ全4回

第4回

# 看取りについて

## ACP (アドバンス・ケア・プランニング) について



みなさん、ACP (アドバンス・ケア・プランニング) を知っておられるでしょうか。ACPは「自分で意思決定ができなくなった時に備え、人生の最終段階の医療や介護について患者さん、家族、医療スタッフが話し合い、患者さんにとって最善のケアが行われるようにする過程」を言います。ACPの取り組みはまだ始まったばかりです。ACPを知っているのは一般の国民で3%、医師でも22%との報告があり、まだ普及していないのが現状です。一方超高齢化社会となり、終活やエンディングノートなど死と向き合い、自分らしく人生を送りたいと考える人も増えています。人生最終段階の医療の在り方が問われるようになりました。高齢者の疾患の特徴から慢性疾患や徐々に衰弱していくことから、疾患治療主体から療養生活全体の癒しやケアが主体となってきています。終末期医療の選択は幅広く多種多様となっています。例えば食事がとれなくなった時に、胃瘻を作るのか、高カロリーの点滴をするのか、心臓や呼吸が止まった時心肺蘇生をするのか、その人の人生観、生き方、価値観、宗教等個人により考え方は違います。どのような医療介護を選択するのは本人です。以前のように先生にお任せします。というわけにはいなくなっています。一方70%の人が認知症等病気のために終末期医療の決定が不可能と言われていました。そのためACPは非常に重要です。ACPは家族、信頼できる人、医療従事者で行われます。ACPは、患者さんが最も大切にしていることに基いて、意思決定ができるように、医療ケア全体の目標はなにに焦点を当てるか話し合います。病状の理解、今後の治療やケア方針を話し合います。また患者さんが意思決定できなくなった時、患者さんの代わりに意思決定を行う信頼のできる人（代理決定者）を選任することを話し合います。ACPはアドバンス・

ケア・プランではなくプランニングです。本人の意思は心身の状態により変化するものです。また家族の思いも同様です。医療・ケアの方針やどのような生き方を望むのかは、繰り返し話し合うことが重要です。また、なんでその決定に至ったかを会の記録に残す必要があります。その過程が重要なのです。ACPについて、患者さんの自己コントロール感が高まる、代理決定者—医師とのコミュニケーションが改善される。また、患者さんの意向が尊重されるケアが実践され、患者さんや家族の満足度が向上し、遺族の不安抑うつが減少するとの報告があります。我々医療従事者もこの選択は正しかったのか、あるいはこうしてあげた方が良かったのではと患者さんの最終医療を悩みながら行っています。ACPは我々医療従事者にとっても大切です。今後ナカムラ病院、介護医療院ひいろにおいても積極的にACPを行っていきたいと考えています。2018年11月30日が“いい看取りの日”とされ、ACPを「人生会議」と呼ぶようになりました。ACPを特別な会議とするのではなく、「人生会議」とし身近な有効な会議となるようにしたいと思います。

ナカムラ病院 院長  
塚野 健



# 話のおのの養栄

## 夏バテを予防しましょう!

今年も暑い夏がやってきましたね。暑い日が続くと食欲が低下し、夏バテしやすい体になってしまいます。夏バテを防ぐには、早寝・早起きをする、食事は決まった時間に食べる、適度に体を動かすなど心がけたいですね。

食欲がない時には、「量より質」です。特に不足すると夏バテしやすくなる栄養素は、たんぱく質とビタミンB1です。積極的に取り入れてください。

**【たんぱく質】** 肉、魚、豆類、卵、乳製品など  
**【ビタミンB1】** 豚肉、うなぎ、大豆、玄米など

また、こまめに水分補給をしたり、夏野菜をしっかり食べることも夏バテ予防につながりますよ。バランスの良い食事、生活リズムを整えながら夏バテを予防したいですね。

ナカムラ病院 栄養科 管理栄養士 濱崎 優子



# つばいこぼれ話

## 藤の花作りの巻

つばいのご近所のお庭にあちこちきれいなお花が咲き始めたので皆さんと藤の花

を作ることにしました。「私は折り紙で三角を折るわ」「じゃあ、それを貼ってあげるね」など、それぞれ皆さんの得意な作業をして頂きました。いつになく積極的に参加されたことに驚かされました。玄関に完成した作品を飾り、皆さん大満足の笑顔で写真を撮りました。

グループホーム つばい

介護職 福山 智恵



# 陽光ふぁみりー

## 書道教室

陽光の家デイサービスでは、毎月第四火曜日に書道教室を行っています。書道教室で何を書くかは利用者さまの自由です。先生のお手本を参考にして書かれる利用者さまもいれば、「闘魂」と書かれた方もいます。「今日は何を書こうか。あなたはなんて書くの?」「昔は、よく書いていたので懐かしい」と、先生や利用者さま同士のおしゃべりも楽しみの一つです。そして、いざ書き始めると、今まで笑顔だった表情が真剣な眼差しに変わり、背筋がしっかり伸びて筆



に墨をつけ、半紙に筆を降ろし、一気に書き上げます。利用者さまが納得する作品を書きあげたまで何回も練習されます。書きあがった作品に「先生どっちがいいかね」と先生に尋ねると、先生も「うちの作品には力強さを感じるし、止め、跳ね、払いが上手にできていますよ」と先生と一緒に決めた作品の出来栄えに利用者さまも大満足の様子です。書道教室の作品はデイサービス内に飾っておりますのでお越しになった際には是非ご覧になって下さいね。

陽光の家通所介護事業所

相談員兼介護職 網本 忠文

敏子さま

# 作品展

平成三十一年四月二十四日〜令和元年五月六日、介護老人保健施設まいえに入所しておられる「敏子さま」の作品展を開催しました。

敏子さまは「手のリハビリに…」との思いで、居室で折り紙や編み物などの手仕事をしておられる方です。これまで季節毎にまいえ・ナカムラ病院の玄関に工夫を凝らした作品を展示し、作品を見た多くの方々から好評をいただくようになりました。作品作りを通して多くの方々とつながりが生まれ、敏子さまにとって人生を豊かなものにする大事なライフワークになっておられます。「いくつか個展が開催できたらいいな…」との思いが実現し、数ある作品の中から、ロールピクチャー、折り紙手芸など選りすぐりの三十二点を展示しました。作品展の感想ノートにはたくさんの方の励ましの言葉をいただき、敏子さまは大変喜んでおられました。最後に敏子さまからのひこことです。「リハビリに…と手仕事をするよ

うになって、動かなかった手もずいぶん動くようになりました。まだ痛みやしびれはあるけれど、作品作りは楽しいばかりで、周りの皆さんにただただ感謝しています。作品展を見に来てくださって、ありがとうございます。」

リハビリテーション科  
作業療法士 中田まゆみ



## 認知症ケア学会に参加して

去る五月二十五日・二十六日に京都で開催された日本認知症ケア学会に参加させていただきました。学会ではさまざまな講演を聴講することができ、非常に参考になりました。

中でも感銘を受けたのが、特別講演の「認知症当事者からの希望のリレー」です。この講演の中で、認知症の人の不安を認知症の本人が聞くという活動をおられる、おれんじドアという団体の方々が、そ

の活動を通じて感じたことなどを話されました。その中で、「医療者などは認知症の人の認知症(病気)はみるが、人はみていない」といった内容の言葉があり、身につまされました。私たちは認知症の人の易怒性などのBPSD(行動・心理症状)に注目しがちで、その人が何を考え、どうしてほしいのかは置き去りにしがちです。今後、この言葉を胸に、認知症の人たちのケアを行っていきたいと思います。

ナカムラ病院 A3病棟

看護師 石川 明人

## スタメンインタビュー



シリーズでお届けしている各部署責任者へのインタビュー。今回は山本里好子 B4看護科長です。

Q. 看護師を目標されたきっかけを教えてください。

A. 子どもの頃、祖母が脳梗塞で倒れ、病院や施設へ行く機会が多くありました。そこで医療従事者に興味を持ったのがきっかけです。

Q. 仕事にやりがいを感じるのはどのようなときですか。

A. 私の関わりにより、入所者様やご家族、そしてスタッフの笑顔を見ることが出来たときや、スタッフの皆で検討を重ねた結果、対象の方にプラスの変化が見られたときなどです。

Q. リフレッシュ方法はありますか。

A. 子どものサッカーの応援です。

Q. 今一番楽しみなことは何ですか。

A. 子どものサッカー観戦です。



Q. 今後の目標を教えてください。

A. スタッフ一同で同じ目標に向かい、入所者様が安全で安楽な過ごしやすい環境づくりを目指します。また、スタッフが働きやすい、活気ある職場環境づくりも目指していきたいと考えています。



ありがとうございます。

これからも頑張ります。

## 認知症カフェ だより



認知症カフェサロン・ド・ファミーユへ今回も多くの方にご参加いただきました。

五月十七日に開催したカフェでは、当院長塚野 健による『認知症初期集中支援チームについて』のミニ講話をおこないました。

認知症に対する新しい取り組みがどのようなものか皆さまに知っていただくいい機会となったと思います。支援チームは認知症になっても本人の意思が尊重されより良い環境で住み続けることができるように病院の複数の職種が関わり支援をおこないます。

少し汗ばむくらいの陽気のなか、六十五名もの参加者の皆様は熱心に話を聞かれ、「認知症の支援の流れがわかり、ちょっと心強く思った」「現在、最大の関心事である認知症について、よい話をきかせてもらいますごく安心しました」「認知症になっても、地域で安

心して暮らせると思い勇気が出ました」など前向きなお声を多くいただきました。

今後もスタッフ一同、皆さまの認知症への不安に寄り添い、地域でいきいきとした生活が続けられるお手伝いができるよう頑張っていきたいと思えます。

カフェは毎月第三金曜日に開催してまいりますので、気軽にお越しください。お茶菓子とともに午後のお時間を楽しくお過ごし下さい。

ナカムラ病院

薬局長 長島 悦子



## (H30年度 実習生受け入れ実績)

昨年もナカムラ病院・介護老人保健施設まいえ・特別養護老人ホーム陽光の家では、さまざまな職種の実習生を受け入れました。詳しい受け入れ状況は下の表のとおりです。現場でしか学べない多くのことを吸収し、将来に活かして頂きたいと思えます。

### ●ナカムラ病院・まいえ

(五十音順)

職種	学校名	人数(名)	職種	学校名	人数(名)
看護師	山陽看護専門学校	22	作業療法士	広島都市学園大学	2
	広島文化学園大学	142	言語聴覚士	広島都市学園大学	1
理学療法士	広島国際大学	1	管理栄養士	比治山大学	4
	広島都市学園大学	2	広島女学院大学	4	
作業療法士	IWAD環境福祉専門学校	1	栄養士	山陽女子短期大学	3
	県立広島大学	2	精神保健福祉士	県立広島大学	1
	広島大学	1			

### ●陽光の家

(五十音順)

職種	学校名	人数(名)
介護福祉士	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校	3
	広島福祉専門学校	2
生活相談員	福祉リソースカレッジ広島	1



# いきいき行事ダイジェスト

## 4月

- お花見(B5)
- お花見昼食会(にぎや家)
- 春の歌会(A3)
- セラピードッグ(まいえ1)
- ボランティア(陽光の家)
- 売店(陽光の家)
- 春の音楽会(まいえ2)
- 春のミニ運動会&ケーキバイキング(B7)
- 外食(つばい)
- おやつレク(陽光の家)
- 大正琴演奏会(全体行事)
- 法話会【西楽寺】(陽光の家)
- フルーツバイキング(まいえ2)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- 春だ!映画鑑賞をしよう!(B6)

## 5月

- 新元号を祝う(B5)
- ボランティア(陽光の家)
- 売店(陽光の家)
- 紙芝居となつかしの遊び(B7)
- 母の日ハンバーグ作り(にぎや家)
- おやつレク(陽光の家)
- 開設記念祭(陽光の家)
- 慰問【三筋芸能グループ】(陽光の家)
- カラオケ・カフェ(まいえ2)
- 鯉つりゲーム(A3)
- 春のお茶会(リハビリ)
- ケーキバイキング(まいえ1・まいえ2)
- フルーツ&鯉のぼり作り(B6)
- 吹奏楽演奏会(全体行事)
- 法話会【正覚寺】(陽光の家)

## 6月

- 外食(つばい)
- 法話会(リハビリ)
- ボランティア(陽光の家)
- 売店(陽光の家)
- 慰問【琴伝流大正琴】(陽光の家)
- 消防避難訓練(陽光の家)
- ケーキバイキング(B6・まいえ1)
- 梅雨を感じていただく(A3)
- ビンゴゲーム(まいえ2)
- フルーツバイキング(B5)
- フルーツバイキングと歌会(B7)
- 父の日の運動会(にぎや家)
- オペラアンサンブル演奏会(全体行事)
- 法話会【正順寺】(陽光の家)
- 昼食バイキング(まいえ2)

令和元年五月十五日、B5病棟では、みなさまと一緒に新元号をお祝いしました。あらかじめ習字で〈令和〉の文字を書いていただき、習字を行うのが難しい患者さまには、こちらで書いた〈令和〉の文字と共に記念撮影をさせていただきました。

習字をしていただく際に、「字を書くのは下手だから嫌だ」と言われていた患者さまも、天皇陛下が代わられたことや、新元号が〈令和〉になったことをお伝えすると、「はあく、そうなんじゃ」と驚いて、感慨深そうに思いにふけられ筆を執られた姿が印象的でした。



ナカムラ病院 B5病棟

介護職 益田 忠昭

撮影の際は、キリツとされた表情や、少し緊張された面持ち、照れくさそうに笑われているの撮影など、普段過ごされている時とは、また違った表情を浮かべていらっしやいました。

大正・昭和・平成・令和と激動の時代を歩んでこられ、時には辛いこともあったと思われませんが、みなさまと笑顔で元気に新元号を迎えられたことを嬉しく思いました。

広島市委託事業

# 佐伯区

## 認知症初期集中支援チーム (オレンジ支援チーム)

医療・介護の専門チームが認知症の早期対応をお手伝いします。

身近な方が認知症かな?と思ったら

まずはお住まいの地区の地域包括支援センターへご相談ください。



佐伯区地域包括支援センター	
湯来・砂谷	TEL (0829)86-1241
五月が丘・美鈴が丘	TEL (082)208-5017
三和	TEL (082)926-0025
城山・五日市観音	TEL (082)924-7755
五日市	TEL (082)924-0053
五日市南	TEL (082)924-8051



2019年 8月 ▶ 12月

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	8月3日▶9月26日 第17回ナカムラ病院等 利用者さま作品展 -今を生きる作品たち-
	10月上旬 ピーアイエー いけ花愛好会 花展
	10月中旬▶12月中旬 植田トシヒコ・下川マトシ アンティーク コレクション展
第二展示コーナー	8月3日▶9月26日 第17回ナカムラ病院等 利用者さま作品展 -今を生きる作品たち-
	10月上旬▶12月中旬 広島市立大学芸術学部 学生有志作品展

## 歯科 院外発表

■ 日本老年歯科医学会 第30回学術大会  
2019年6月6日～8日

課題口演賞受賞

介護食品の押しつぶし可否に関わる口腔機能の探索

歯科医師 山脇加奈子

舌接触補助床の装着と摂食嚥下訓練の実施が口腔機能の改善に繋がった脳血管性認知症患者の1例

歯科衛生士 板木 咲子

今年も暑い夏がやってきました。この広報誌も何度も季節を巡り、前号で100号を迎えました。創刊が93年春に発行され25年続いています。

これからも、施設内の出来事や関連する社会的な情報などを的確に迅速に充実した内容でお届けしたいと思います。

(A)



### 編集後記



後期高齢者医療被保険者証の更新時期となりました。有効期限が七月三十一日までとなっており、新しい元号の被保険者証がお手元に届けられません。負担割合等変更がないか確認をさせていただくため、新しい被保険者証を病院窓口へ必ずご提示していただきますようお願いいたします。

被保険者証の更新について

